にいがた
市報
発行所 新潟市役所
新潟市西堀通6番町866
電話 代表(28)1000
編集人 本間高明
（担当企画部広報課）
印刷所 ㈱第一印刷所

老人福祉特集号
11月30日発行

総合的な老人福祉を目指し

11月1日に 老人福祉課を新設

市内の六十歳以上のお年寄りは今年四月一日現在で四二、〇三七人。総人口に占める割合は一〇・三％。過去四年間では、年平均二、三〇〇人強（〇・四％）の増加となっています。しかも、増加の速度は今後ますます大きくなり、昭和六十年には六九、六四〇人、人口比一三・一％が見込まれています。

この傾向はいつ新潟市だけのものではなく全国的な傾向ですが、新潟市では、より総合的な老人福祉行政を推進するため、県内他都市に先がけ、この十一月に、老人福祉課を新設し、その体制を整えました。

そこで、これを機会に、市の老人福祉行政を紹介する「老人福祉特集号」をお届けします。

喜ばれる無料化（医療費）制度

申請もれの方は早めに

医療費のうちの自己負担分を公費でまかなおう―というのが・医療費の無料化制度で、各分野で実施されています。老人の場合は、❶七十歳以上の一般老人全員❷六十五歳から六十九歳までの寝たきり老人❸六十五歳以上の一人暮し老人―を対象に、❶は四十八年一月から、❷は四十六年四月から❸は四十八年九月からそれぞれ実施しています。

【七十歳以上一般老人の医療費無料化制度】 今年十月末現在で七十歳以上のお年寄りは約一万五千人、そのうち八四％の方が老人医療費受給者証の交付を受けています。また、該当する人で申請もれの方もあるようですが、残る一六％のほとんどは、職場保健に加入しています。

老人の受診率は、発足当時は六〇～八〇％程度でしたが、月毎に伸び、最近では平的一〇五％で、大いにこの制度が活用されているといえます。経費は国が三分の二、市・県が各六分の一を負担。

この制度は、満七十歳になった月から該当しますが、申請手続きをとらない限りは利用できません。該当する人でまだ申請していない人は早速市老人福祉課か各地区事務所で手続きをしてください。

【六十五歳から六十九歳までの寝たきり老人の医療費の無料化制度】 今年の三月現在、対象者は三十四人。発足以来からの助成件数は七百八十六件、助成金額は約一千万円。経費は市が三分の一、県が三分の二を負担します。

【六十五歳～六十九歳ひとり暮し老人の医療費無料化制度】 今年の三月現在、対象者は五十四人発足以来からの助成件数は五十八件、助成額は約二十二万円。経費は市が三分の一、県が三分の二を負担。

早期発見で健やかに

老人健康診査

充実した老後生活を送るうえにお年寄りが、心身ともに、健康で過ごすことは、必要不可欠な要素です。そのため、老人福祉センター「ことぶき荘」での健康相談などで、病気にならない前に、健康状態を相談する場を設けています。

しかし、何といっても、年一回（九月十五日～十月三十一日）六十五歳以上の全部のお年寄りを対象として行う「老人健康診査」は、いちばんたいせつなものといえましょう。

この診査は、一般診査と、精密診査があって、一般診査は、全員が受け、その中で、さらに、詳しい診査が必要なお年寄りに、精密診査を行ないます。

お年寄りは、老化現象により心身の機能が著しく低下しており、複合的であり、その療養も、長期間にわたるため、早期発見のいみで、たいせつな診査です。

「70代はまだ若いもんのうち」

鮭漁に励む 井村新平さん（松浜）

食膳を飾る鮭の漁もほぼ終わりに近づきました。「今年は、まあまあ、とれた方だな」―、櫂（かい）をとりながら井村新平さん（松浜三丁目）＝写真＝は語る。七十三歳。松浜橋の下手、阿賀の河口と、狭い舟の中が井村さんの仕事場です。

漁師の家に生まれて家を継ぎ、この道一筋に五十余年、井村さんの手、足、顔にはその年輪がしっかりと刻み込まれています。「七十代は、まだ若いもんのうちだ」―というとおり、病気らしい病気もせず、若い人といっしょに出漁します。松浜の漁は十二月の八ッ目が終わるとほぼ冬休みに入る。しかし、井村さんは、寒の内でもマスをとりに行くほどの元気者。「まだまだこれからも若いもんに負けんぞ」と張切っています。家では今年金婚式を迎えたモト夫人（七十七歳）と子息夫妻、孫二人の計六人暮し。

高齢一口メモ

全国の平均寿命は、四十八年で男七〇・四九歳、女七五・九二歳となっており、昔から「女は男より長寿だ」―ということは常識になっておりますが、新潟市においても決して例外ではありません。

市内の六十歳以上のお年寄りは四十八年で四〇、四五二人、そのうち、男一七、九七〇人、女二二、四八二人で、男一人に女一・二五人の割合になっています。

女の男に対する比率は、高齢者になるほど高く、六十五～六十九歳が一・四九（男一）、七十代一・三二（同）八十代一・八七（同）、九十代以上にいたっては二・九二（同）となっています。

最高齢者も女性の村山ヨエさん（百一歳、松浜在住）で、いまもお元気でいらっしゃることは、しばしば市報でご紹介のとおりです。

休憩所で楽しく

福祉施設のいろいろ

老人福祉センター「ことぶき荘」

「ことぶき荘」内では、多くのお年寄りが、碁、将ぎに打ち興じたり、風呂にゆっくりとつかったり、茶菓を楽しみながら、世間話しに花を咲かせたり、テレビに見入ったり、思い思いに一日を過ごしています。

また、週二回、健康相談に応じています。

「ことぶき荘」で、最も特長があるのは、リハビリテーションができることです。脳卒中などで、半身がまひしたとかの場合、週二回、医師が指導して、機能訓練を行なっています。

◇利用案内◇

☆開館　午前九時半～午後五時

☆健康相談日　毎週火・金曜日、午後一時～三時

☆在宅老人機能回復訓練日　毎週火・土曜日、午後一時～三時

☆所在地　西大畑町

老人無料休憩所

地域のお年寄りが、気軽るにやってきて、くつろげる所です。楽しく一日を過ごせます。一度、ぜひ、おあそびにおいでください。

☆利用時間　▼六月～九月　午前八時～午後五時　▼十月～五月　午前九時～午後四時

☆所在地　▼内野休憩所（新川荘）―五十嵐二の町▼西休憩所（なぎさ荘）―窪田町▼北部休憩所（ひばり荘）―雲雀町▼東休憩所（松崎荘）―松崎▼松浜休憩所（寿楽園）―松浜五丁目

老人ホーム

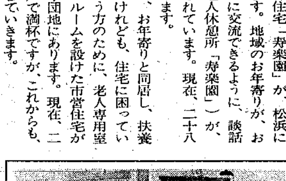
身よりがなく、経済的に困っているお年寄りが入れる養護老人ホーム「松鶴荘」があります。現在百四人の方々が生活しています。

また、体が弱く、日常生活を一人でできないお年寄りの世話をする、特別養護老人ホーム「松風園」「新潟特養」があります。

お年寄りのための住宅

住宅に困っている老人世帯向けの老人住宅「寿楽園」が、松浜にあります。地域のお年寄りが、おたがいに交流できるように、談話室（老人休憩所「寿楽園」）が、併設されています。現在、二十八戸あります。

また、お年寄りと同居し、扶養したいけれども、住宅に困っているという方のために、老人専用室とサンルームを設けた市営住宅が曽野木団地にあります。現在、二十二戸で満杯ですが、これからも、増築していきます。



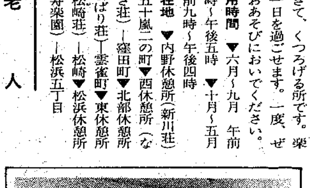
内野休憩所

「ハア、ここへ来て、孫の話や、隣・近所の話をしていますがネ。湯治して、ゆっくりできて、ほんネ、ありがてぇてばネ」と、うれしそうに語ってくれたのが、清水タカさん（五十嵐3の町　77歳）

また、岡田一二郎さん（内野町　70歳）は「2年、毎日、なぎさ荘へ通っていたンだが、近くに出来て、喜んでいる。狭いが、早く広げて欲しい」と、話していました。部屋では、湯上がりで、体をほてらせ、満足そうなおじいさん、おばあさんや、碁、将ぎに興じている人々、茶菓を前に、世間話しに花を咲かせている人々。思い思いに楽しいひとときを過ごしていました。

松鶴荘

「毎日が楽しくって、忙しくって！」とKさん。「めし食う間も惜しく、はりがあります」とMさん。養護老人ホーム「松鶴荘」を訪れたとき、園芸クラブの方々が、ちょうど、冬囲いの最中。少しの間を借りて、お話しを伺ったときに、はね返ってきた言葉です。菊作りの名人TさんSさん。根っからの植木好きです。また、Kさん、園芸クラブのほかに、手芸クラブにも入っている―という多趣味の方。明るく、わきあいあいと、楽しく忙しく、1日を過ごしていました。



ことぶき荘

娯楽室では、十数組のおじいさんたちが、真剣な表情で、碁盤や将ぎ盤とにらめっこ。その脇では、小島敏三さん（四ツ屋町　72歳）が中心になって、忘年会の会員集めで大忙し。「毎日、歩いて通ってきています。忘年会は150人くらいになるでしょう」と、はりきっています。

機能回復訓練室では「天気のよい日に来て訓練機を利用している」という坂井義雄さん（二葉町3、78歳）。脳卒中でマヒした手足も、信楽園のリハビリで回復し、その後も、ことぶき荘へ来て、訓練しているとのことです。

寿楽園

「だれにも気兼ねしなくて、しあわせラネェ。」と、老人住宅「寿楽園」ができた46年に入居した遠藤酉平さん（77歳）とマツエさん（77歳）＝写真＝ご主人は、植木が趣味で、「お互いに助け合って、長生きしようネ」と、酉平さんに寄り添うように、マツエさん。つい最近ケガで伏せっている小坂井辰雄さん（70歳）の妻ノリ子さん（66歳）は、静かで、いい場所ですネ。喜んでいます。できれば、共同洗たく場が欲しいですネ。」と、お年よりも、ずーと若く見える、明るい笑顔で話していました。